



中四国 いんぷあ め〜しょん

2022年6月
第45号

企画・発行 日本赤十字社中四国ブロック血液センター 学術情報課 Tel 082-241-1619
協力 中四国ブロック内各赤十字血液センター



中四国ブロックと全国の献血・供給状況について

輸血用血液製剤の供給数は、全国的には前年と比べると血小板製剤および血漿製剤が微減、赤血球製剤が微増となっており、中四国ブロックにおいても同様の動きとなっています(図1)。

献血者数については、平成30年以降全国的に増加傾向にあります。中四国ブロックにおいては前年を上回ることができず(図2)、昨年の献血者数は全国で5,086,003人、中四国ブロックでは448,918人でした。

献血申込者数と献血者数の差は、問診や事前検査により献血不適格となることにより、その割合は約11%となります。

男女別に見ますと、男性は全国・中四国ブロックともに10~40代が減少、50~60代が増加しています(図3)。女性は全国・中四国ブロックともに昨年は30~40代が減少、50~60代は平成29年から増え続けています。また20代が全国では平成30年以降増加傾向にあるのに対し、中四国ブロックではやや伸び悩んでいます。さらに中四国ブロックでは10代の減少に歯止めがかからないのも課題となっています(図4)。

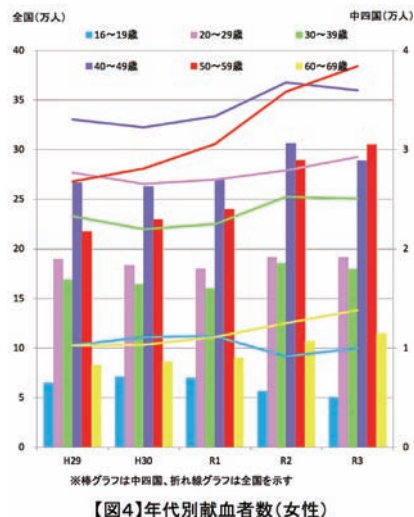
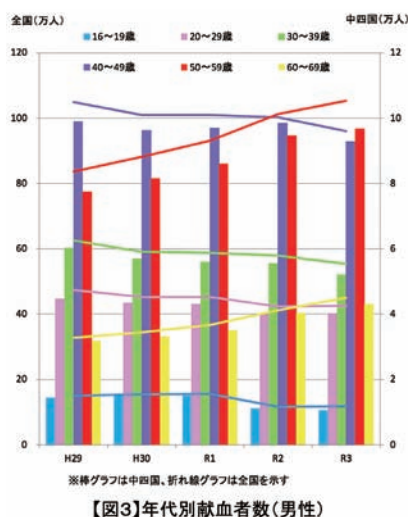
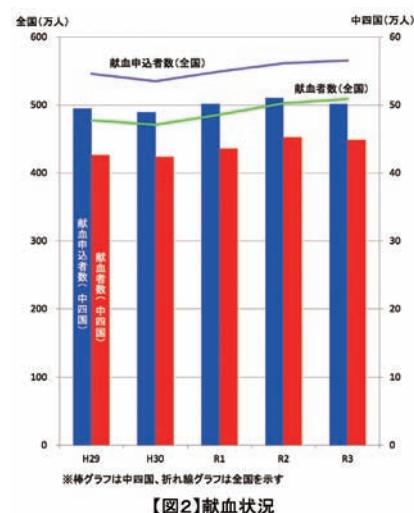
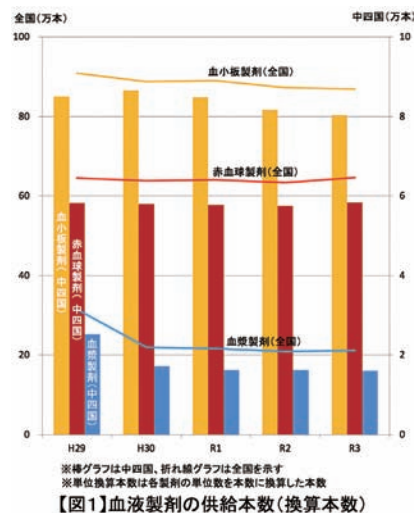
新型コロナウイルス感染症の影響を受け、予定していた献血会場の中止等により献血者確保が大変難しい状況が続いています。しかし、出口が見えないコロナ禍においても、多くの方々に献血へのご理解、ご協力をいただき大変感謝しております。

医学が進歩した今日でも、輸血用血液製剤は人工的に作ることが出来ず、皆様の善意による献血で支えられています。

また、献血経験者の皆様から周囲の方々への声掛けは、「献血に初めて協力した」、「献血に行くきっかけとなった」と新たな献血者につながっています。

血液事業は皆さまの善意によって支えられています。今後も献血へのご協力と共に周囲の方々への声掛けをよろしくお願いいたします。

(中四国ブロック血液センター
需給管理課 三宅雄大)



輸血経験がある方のメッセージを募集しています！

広島県赤十字血液センターでは、輸血を受けた事がある方やそのご家族の方からのメッセージを募集しています。

■ 長引くコロナ禍 献血離れの深刻化

新型コロナウイルス感染症により、様変わりした日常は、献血にも大きな影響を与えています。外出自粛の影響で献血ルームへの来場者が減り、企業や学校での集団献血は相次いで中止に。献血が開催できた企業や学校でも、テレワークや分散出勤、オンライン授業の導入により、以前に比べ献血へのご協力者数が減少している傾向にあります。長引くコロナ禍での献血機会の喪失により、献血意欲の低下「献血離れ」が深刻化しています。コロナ流行下においても、輸血を必要とする患者さんが安心して治療を受けられるよう、血液を安定的に確保する必要があります。

■ こんな時代だからこそ伝えたい“みえない絆”

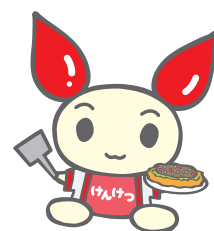
日本赤十字社では、個人情報保護や倫理的な観点により、献血者の方に「あなたの血液はこのような病気の方に使用されました」という報告は行っていません。しかし、献血者の方にとって、自分の血液が誰かの命を救っているという実感は、献血への大きな原動力となります。

コロナ禍、人と人との関係の希薄化が叫ばれる今だからこそ、いただいた血液がつなぐ“みえない絆”を伝えることで、献血者の方への献血意欲の向上にアプローチしていきたいと考えます。

■ いただいたメッセージは・・・

いただいたメッセージは、下記のような様々な献血広報活動に活用し、献血者の方に皆さまの声を届けます。

- ・血液センターが運営するHPやTwitter・Facebookへの投稿
 - ・献血バスや献血ルームへの掲示
 - ・学生や社会人に向けた献血啓発セミナーでのご紹介
 - ・血液センターが発刊する「ほっとクロス」等、献血普及のためのパンフレットへの掲載 など
- ※いただいた内容は、献血広報活動のみに使用し、その他の目的では使用いたしません※



新型コロナウイルス感染症により様変わりする日常は、献血にも大きな影響を与えています。外出自粛や集団献血の相次ぐ中止。長引くコロナ禍での献血機会の喪失により、献血意欲の低下「献血離れ」が深刻化しています。

医療が発達した現代でも、輸血用の血液は、未だ善意による献血でしか確保できません。このままみんなの中から「献血」が消えてしまったら――。

広島県赤十字血液センターでは、輸血を受けられた患者さんからのメッセージを募集しています。いただいたメッセージは、血液センターのホームページに掲載するほか、様々な広報活動に使用させていただきます、あなたの声を献血者の方へ届けます！

人と人との関係が希薄化してしまった今だからこそ、血液がつなぐ“みえない絆”を献血者の方へ。“自分の血液が誰かを救っているという実感”これこそが、献血への大きな原動力です。

献血への一歩を後押しする あなたの声をぜひ、お寄せください！

■ メッセージはこちらから

下記、二次元コードよりサイトにアクセスし、

- ① ニックネーム（広報に使ってよいお名前）
- ② 年代
- ③ 性別
- ④ 輸血治療を受けた都道府県
- ⑤ 輸血に関するメッセージ



（（例）輸血時の状況や、献血してくださる方への思いなど）にご回答をお願いいたします。

輸血によって救われたご経験のある方だからこそできる、献血の大切さを広める活動にぜひ、お力をお貸しください。

（広島県赤十字血液センター 献血推進課 磯岡敦美）